

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度 学校評価 計画

学校名		神埼市立千代田中部小学校	
1 前年度 評価結果の概要	・学校目標の達成に向けて、全教職員が、校務分掌上の成果指標を明確に見定めた上で、組織的・協働的に業務に取り組むことができており、全ての取組でA評価だった。 ・前年度からの課題であった「睡眠時間の確保」については、肯定的回答をした児童が85%で、目標の80%を達成することができた。 ・時間外勤務時間の削減については、「時間外勤務時間の上限45時間を守ることに努めている」という質問に対し、「よくあてはまる…4」と答えた職員が中間評価の時より18%増えた。 ・昨年度から好評であり、継続してきた賞賛活動については、児童の自己肯定感・自己有用感の育成の効果が徐々に高まってきており、今後も、継続して取り組んでいく。 ・県学習状況調査の結果等を見ると、語彙力・表現力の育成の点が全体的に十分ではないこと、基礎的・基本的な知識技能の習得が十分でない学年が一部あった。		
2 学校教育目標	「賢く 優しく 遅しく生きる」そして共に生きる		
3 本年度の重点目標	1 全職員で全児童を見守る組織作り 2 勤務時間の縮減に繋がる業務の見直し・適正化、組織体制の工夫 3 学力向上（・校内研究の充実基礎的・基本的な知識技能の定着・語彙力・表現力の育成・家庭学習の充実） 4 ユニバーサルデザイン教育の推進		
4 重点取組内容・成果指標			
(1)共通評価項目			
	重点取組		具体的取組
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	○学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・取組への進捗状況の情報交換を行い、共有化を図る。 ・マイプランについて、学期に1回振り返りを行い、自身の取組への意識の継続化を図る。
	○知識・技能の定着・語彙力・表現力の育成	○国語・算数の単元評価テストにおいて、知識・技能の60%以上達成を80%以上 ○本の目標貸出冊数を達成した児童85%以上	・スキルタイムや効果的な家庭学習で反復練習をさせ、計算力や語彙力の定着を図る。 ・お勤めの本読破の推奨や多読賞選出等で読書意欲を高める。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて、肯定的な回答をした児童80%以上 ○年間を通して、ボランティア活動(募金・草取り・ペットボトルキャップ回収など)へ参加したと答えた児童が85%以上	・道徳に関するアンケート(挨拶、言葉遣い、縦割活動、無言掃除)を実施する。 ・ふれあい道徳教育を年1回以上行う。 ・ボランティアバスポートを周知し、奉仕活動への意識を高める。
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等について、組織的対応ができていると回答した教師80%以上	・心のアンケートを毎月実施する。 ・いじめの認知・認知に対する対応マニュアルの周知を図る。 ・いじめの対応についての研修会を年一回以上行う。
	◎自己肯定感・自己有用感の育成	○自己肯定感・自己有用感を尋ねるアンケートで、肯定的な回答をした児童80%以上	・縦割り掃除や縦割り遊びなどの異学年交流や児童会活動を通して、出番と役割を与え承認・賞賛を行う。 ・各クラスで、互いのよさを認め合う場を設定する。
●健康・体づくり	●児童の交通事故を0(ゼロ)にする。 ○安全に気を付けて登下校できたかを尋ねるアンケートで、肯定的な回答をした児童80%以上 ○ヘルメット着用率100%を目指す。	●児童の交通事故を0(ゼロ)にする。 ○安全に気を付けて登下校できたかを尋ねるアンケートで、肯定的な回答をした児童80%以上 ○ヘルメット着用率100%を目指す	・学級活動で、児童に安全な登下校について考えさせる授業を行う。 ・登校班での話し合いを月1回行い、安全に登下校する意識を持たせる。
	○自らの生活習慣を見直し、修正できる能力の育成	○睡眠時間の確保について尋ねるアンケートで、肯定的な回答をした80%以上 ○朝食喫食率について尋ねるアンケートで肯定的な回答をした90%以上。	長期休業前に朝食や睡眠時間の大切さについて指導する。保護者には、個人面談や学級懇談会等で生活リズムを整えるよう、呼びかける。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・パソコンによる業務管理の徹底 ・定時退勤日の設定 ・職員室の整理・整頓 ・文書管理(データ・紙媒体)の効率化
	○3部会制の導入による学校運営への参画	○自らの校務分掌において、学校目標達成のための働きができたと回答した教師80%以上	・自己申告書の自己目標と学校評価会で担当した校務分掌上の目標を連動させ、日常の業務を遂行する。
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目			
	重点取組		具体的取組
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
○ユニバーサルデザインに基づく教育環境整備	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教室環境整備 ○授業のUD化の推進	○UDの視点を取り入れた教室環境整備について尋ねるアンケートで、肯定的に回答した教師80%以上。 ○UDの視点を取り入れた授業作りについての意識が高まったかを尋ねるアンケートで肯定的に回答した教師80%以上。	・ユニバーサルデザイン教育についての校内研修会を年に2回行う。 ・特別支援教育についての校内研修会を年1回以上行い、配慮を必要とする児童の特性等について理解を深める。
○タブレットを活用した学習活動の充実	○各教科でタブレットを積極的に使用する	○タブレット使用のアンケートで週3時間程度使用したと答えた割合が80%以上。	○ICT推進リーダーがタブレットを活用した授業を紹介する。 ○実践事例を紹介する。
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育			
5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・		